

# エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデルの実装PJ第1回公開シンポジウム エビデンスに基づく早期療育モデルで描く未来 -地域で拓く親子の可能性-

参加費  
無料

## 第1部 基調講演

10:00~10:30

エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデルの実装PJの概要  
熊 仁美(NPO法人ADDS/慶應義塾大学社会学研究科)



10:30~11:20

基調講演「エビデンスに基づく発達障害への早期発達支援を日本で実現する」  
山本淳一 教授(慶應義塾大学文学部)

日時  
会場

2017年

12月10日(日)  
10:00-17:00

慶應義塾大学北館ホール  
〒108-8345 東京都港区 三田2-15-45

## 第2部 地域における実践報告

11:20~11:40

横浜市の地域療育センターにおける早期発達支援と保護者支援(横浜市南部地域療育センター)

11:40~12:00

千葉市子ども発達センターにおける早期発達支援と保護者支援(ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター)

12:45~13:05

神奈川県民間事業所における早期発達支援(児童発達支援マルシェ)

13:05~13:25

熊本県の民間事業所における早期発達支援(児童発達支援ままとこテラス)

13:25~13:45

香川県のNPO法人における子育て支援と早期発達支援(児童発達支援すまいる)

13:45~14:05

放課後等デイサービスにおける発達支援と事例研究(放課後デイサービスミライエ)

## 第3部 招待講演・パネルディスカッション

14:15~15:00

招待講演「子どもの発達と向き合う～一人一人の発達特性に合った子育てと地域社会～」  
神尾陽子 先生(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部部長)

15:00~15:45

招待講演「厚生労働省における発達障害者支援」  
日詰正文 氏(厚生労働省発達障害対策専門官)

15:45~16:45

パネルディスカッション「地域で子どもの可能性を最大限に広げるために～早期発達支援の課題・展望～」

### 〔招待講演〕



国立精神・神経医療研究センター  
神尾陽子 先生



厚生労働省  
日詰正文 氏

### 〔パネリスト〕



横浜市南部地域療育センター所長  
井上祐紀 氏



NPO法人ADDS共同代表  
竹内弓乃 氏



NPO法人子育てネット  
くすくす理事長  
草薙めぐみ氏

ほか

主催: 特定非営利活動法人ADDS

共催: 慶應義塾大学論理と感性のグローバル研究センター

後援: 厚生労働省





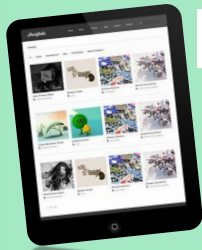
## エビデンスに基づいて保護者とともに行う 発達障害児の早期療育モデル実装プロジェクト

28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに採択された、応用行動分析（Applied Behavior Analysis; ABA）に基づく親子共学型早期療育モデルを、全国の地域に実装するプロジェクトです。

### 早期療育カリキュラムAI-PAC

ADDSと慶應義塾大学が共同開発したABAに基づく包括的早期療育カリキュラムです。

- ▶600を超える発達課題の中から子どもに合わせたターゲット行動を設定
- ▶ICTを活用し、記録用紙の作成や教材、モデル動画の閲覧等が可能



### 親子共学型療育モデル

AI-PACを基盤に、保護者がお子さんの発達を支援する知識・スキルを学び、よき療育者となることを目的としたe-learningや通所型プログラムを実装します。

実装  
支援

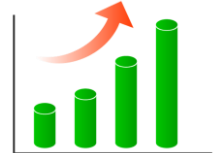
### 全国の療育支援施設でも

横浜南部地域療育センター、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センターをはじめ、香川、熊本など全国の公/民の児童発達支援事業所で実装を開始しています。



### 研究成果

AI-PACに基づく1年間の早期療育の結果、子どもの知能指数や言語・コミュニケーション、保護者の療育スキルや知識にポジティブな変化がみられました。



### 主催団体



NPO法人ADDS

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-31 柏木MURAビル 206

☎:03-6908-7125

Mail: [advanced@adds.or.jp](mailto:advanced@adds.or.jp)

代表者：竹内弓乃・熊仁美

事業概要：児童発達支援事業・人材育成事業・研究開発事業・普及啓発事業

### 実装責任者



熊 仁美

NPO法人ADDS共同代表  
慶應義塾大学社会学研究科  
訪問研究員  
博士(心理学)

慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻博士課程修了。保護者が家庭で実践できる療育プログラムの研究開発と効果検証を進め、28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラム採択、「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデルの実装責任者として全国で療育モデルの実装に取り組む。

お申し込み(締切:12月7日) \*定員に達し次第締め切り

①氏名、②電話番号、③所属先をご記入の上

✉ [addsjsstoteam@gmail.com](mailto:addsjsstoteam@gmail.com) までお申し込み下さい。参加費は無料です。